

岐阜県立不破高等学校

学 校 長 浅井 正美

学校所在地 不破郡垂井町宮代1919の1 電話 0584-22-1002

1 会議の名称 岐阜県立不破高等学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成 (評議員は五十音順)

評議員	井川 暁男	宮代公民館館長
	岩佐 永二	マルセ木材(有)取締役工場長
	田辺 久子	不破保護区保護司会会長
	丹羽 豊次	同窓会副会長
学校側	浅井 正美	校長
	若松 卓郎	教頭
	窪田 晴文	事務長
	森田 英明	教諭
	大橋 美利	教諭
	小川 義隆	教諭
	岡田 眞紀	教諭

3 会議の目的 学校運営について地域住民や保護者から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成22年6月28日(月) 13:30~15:30 校長室
評議員4名と学校側7名が出席

5 会議の概要 (意見聴取・提案・提言等)

(1) 授業参観について

- ・ 3年生は真剣みがあった。データベースをつくる授業は楽しそうにやっていた。バスケットボールやソフトボールの授業も暑い中、楽しそうにやっていた。
- ・ 3年生の英語は勉強しようという意識が伝わってきた。
- ・ 2年生の英語で、3名の生徒に1名の指導者で授業をしていたが、脇目も振らず、一生懸命取り組んでいた。
- ・ 指導者はおおむね一生懸命やっていた。
- ・ 花が飾ってある教室もあり、ほっとした。
- ・ 選択であるため、男子生徒の中に女子生徒一人でも頑張っていた。

- ・ 指導者は、寝ている生徒に対し、あきらめず何度も注意してほしい。
- ・ 少人数編成の授業であるのに、生徒は落ち着きがなく私語が多い。情報の授業は一生懸命やっていたが他は真剣さが無い。
- ・ スリッパにたくさん落書きをしている生徒がいるが、進学を志すクラスにはなかった。
- ・ 白色のマニキュアをつけている生徒もいた。
- ・ 2年生の化学の授業で、ミニスカートで足を組んでいる生徒がいて目のやり場に困った。

(2) 不破高校生への期待

- ・ 不破郡の中で一校の高校であるので、もっと地域に貢献してほしい。
- ・ 高校が地域の中で存在感があるようにしてほしい。昨日の宮代の行事では、終日ボランティア活動をしてくれた。こういう姿をPRするためにも、ケーブルテレビや新聞に掲載依頼するとうい。

(3) 学校の活性化について

- ・ 普通科の高校であるので、選択科目も進学を目指して選ぶのが一番である。
- ・ 今年度の1年生が定員オーバーしたようであるが、何か手立てをしたのか。

回答：何かやったというわけではない。西濃に定員割れした学校はほとんどなかった。確かに本校への希望者は増えた。その理由の一つに聖徳学園高校と清翔高校が一つになり、レベルが上がり、公立へ動いたことも影響したように思う。ただ、本校は中学校から依頼のある高校説明会に伺い、単位制の特徴を説明し、少人数での細やかな指導が受けられること等を強調してきた。

- ・ 地域での活動等、折に触れ生徒の様子を、ケーブルテレビや新聞に掲載依頼するとうい。

(4) その他

- ・ 自転車の二人乗りが非常に多い、時には三人乗りをしている。
- ・ 南宮山の所ばかりでなく、北野神社の所でも下校指導するとよい。
- ・ 4月5月頃の登下校は比較的よかったが、6月になると自転車の二人乗りが多くなり、下校時の服装が乱れてきている。確かに乱れた生徒はほんの一部であり、きちんとした格好の生徒が多いが、やはり胸のボタンを半分ぐらいしかしていなかったり等、だらしのなさが目につく。
- ・ 自転車のマナーの悪さ、左右確認せず暴走する自転車等あり、非常に危険である。
- ・ 男子に女子がだきついて乗っていく自転車の二人乗りもある。

6 会議のまとめ

けじめのない生徒や、集中できない生徒が多くいるのが本校である。このさまざまな生徒を社会に送り出すに当たり、恥ずかしくない人間として育てていきたい。そのため、学校の中だけでなく、校外で目の届かないところでの対応に役立てていきたいので、ご協力ください。